

# おおもり



令和2年2月7日

東根市立大森小学校  
学校だより90号

## 褒められること

先日、2年生の子どもたちが小正月の伝統的な活動である「だんごさし」を、クリエイト東根（楽々クラブ）の方々の指導を受けて取り組みました。赤や青、緑や黄色のだんごを一生懸命に丸め、そして願い事や塗り絵をした飾りをつけ完成しました。だんご飾りは、今、一階の「光のストリート」と呼ばれる広い廊下に飾られ、見事な景色になっています。

### 褒められることは、大人でも嬉しいこと

そこで気づいたのは、だんご飾りに下を通る先生方やお客さん、在校生は勿論のこと、作った本人である2年生の子どもたちも上を見上げ、「すごい」「きれい」と感想を声に出して表現していることです。

さらに、その「褒めの言葉」に、作った2年生が「やったー」「すごいでしょ」など答えている場面に出会い、とても微笑ましく、そして心温かくなりました。

作業前に、担当から、「今日はだんご作りがとっても上手な先生方に来ていただきました」と紹介された“楽々クラブ”の代表の方が、「今、とっても素敵なお褒めの言葉で紹介をしていただきました。幾つになっても褒められるということは嬉しいことですね。」というお話をしてくださりました。

### 「褒められる」ということ

「褒められる」ということは、「やりがい」「やる気」にもつながります。また、自尊心も高まり「前向きになれる言葉」だとも思います。

### 「子どもの上手な褒め方」

- ❖ 「子どもが頑張ったことに対して褒める」
- ❖ 「苦手なことに挑戦したこと（たとえ失敗しても）その努力を褒める」
- ❖ 「子どもが良いことをしたら、親の嬉しい気持ちを伝える」



光のストリートに飾られた「だんご飾り」

### 上手に褒めることを意識して

いよいよ、令和元年度も修了式・卒業式までの登校日数も30日を切りました。この30日の期間には、様々な学習や活動のまとめ、さらに次年度につながる取り組みなども多く行われます。

私たち教職員も、これからの子どもたちの取り組みに対して、「上手に褒める」を意識して、より意欲を高め、中学校や上の学年に進学・進級していけるように支援していきたいと思えます。保護者の皆様におかれましても、ぜひ「褒める」を意識して子どもたちと関わっていただけますようお願いいたします。

◎ 上記のだんご飾りは、2月15日の授業参観まで飾っておきますのでぜひご覧ください。

（校長 土屋 常義）